

第16回米子市都市計画審議会

- 1 開 会
都市創造課長開会宣言
- 2 挨拶
総合政策部長挨拶
- 3 議事録署名委員の決定
議長指名により「高西委員」と「稲田（清）委員」に決定
- 4 議 事（要約）

事務局	<p><議題説明> 米子市都市計画マスタープラン（案）について</p>
前原会長	<p>【 質疑応答 】 只今の説明について、ご意見、ご質問がある方はお願いします。</p>
岡村委員	<p>都市計画道路の見直しという文章が23ページのところと、具体的に中央地区の場合、70ページの広がりのある交通ネットワークの形成の丸印の3つ目に、「長期的に未整備な都市計画道路については、計画の見直しを検討します。」とございます。都市計画道路は市民への制限が加わるという中で、見通しがたたない物は早期に見直しをすることが必要だと思うのですが、具体的に見直しはどのような手順でされますか。</p>
前原会長	<p>では、事務局からお願いします。</p>
事務局	<p>都市計画道路の見直しは平成29年度に一度しております。その中で淀江の方が、都市計画道路を計画してから日がたっていないので淀江を除外して旧米子市の市内について都市計画道路の見直しをさせていただきました。その際に重要なのか重要でないかを検討させていただきました。重要でないところは廃止したのですが、密集市街地を通過するような都市計画道路は、代替になる道路の計画ですとか、都市計画道路以外に必要な道路を整備していないと、避難道路としての役目もありますので、なかなか廃止できません。10年後くらいにまた検討したいと思っております。淀江の方も10年くらいしますと30年くらい経ちますので、必要性をみて見直しをしていきたいと思えます。</p>
前原会長	<p>ご質問の中で、方向が示されていますが、今後の検討の手順をお聞きになられたかなと思えますが、手順としてはどのようにされますか。</p>

事務局	<p>手順というのは例えば住民説明会をどう開催して等、そのような感じですか。</p>
岡村委員	<p>例えばどのような場で見直しを検討するのか等、お聞きしたいと思います。</p>
事務局	<p>10年くらいのスパンで、都市の構造も変化をしてくるだろうということで、まず事務局の方で前回見直した時と状況が変わったことを踏まえて、必要性ですとか実現可能性を整理しまして、順位付けしていく作業になると思います。最終的には、案について住民の皆様からパブリックコメント等によりご意見を頂き、合意形成を図りながら案をお出します。その案について関係の自治会や住民の皆様説明会をして、了解いただいたところから、廃止になる場合は廃止の手続きに入っていきます。</p>
前原会長	<p>その他ご意見ご質問があればお願いします。</p>
小椋委員	<p>35ページの大規模集客施設制限地区の変更について先ほどご説明いただいたのですが、前回の文章からガラッと方向が転換したのかなと思うんですけども、その必要性といいますか経緯を具体的に教えていただけたらと思います。</p>
事務局	<p>住民説明会において南北自由通路の整備が終わった後で、駅の南側の土地利用について切れ目なく市街化を進めていくような、まちづくりも考えていくべきではないのかというご意見を頂きまして、中心市街地活性化基本計画との整合性もありますが、20年くらい先を見たまちづくりを考えると、必要に応じて検討すべき時期があれば、この規制について緩和も視野に入れる必要があるということで、直させていただきました。</p>
小椋委員	<p>今は駅周辺の話ですが、ここに書いてあるのは米子市全体だと思うのですが、それは大丈夫ということですか。</p>
事務局	<p>文書で直したように、中心商業地と一体的な土地利用を図る地域においては、という事を書いております。例えば準工業で言いますと、ここで制限されているのは、流通団地や河崎の清掃工場、伯耆大山駅と郊外の部分も対象となっています。住民の方からご意見いただきましたのは、南北自由通路が米子駅でできましたら、駅の南側に広場ができました時に、広場の横にJRさんの土地がございます。線路がもともとあった場所ですが、準工業地域になっておりまして、せっかく自由通路がついても隣接のJRさんの土地が使えない状況になっておりますので、そういう部分も視野に入れて、今後の開発の可能性を高めていく必要があるというご意見いただきましたので、その様に明記した方がよろしいかと思い、この度修正させていただきました。</p> <p>言葉だけだと分かりにくいと思いますので、この紫色のところ準工業地</p>

	<p>域というところで、大規模集客施設の制限というのがかかっています。これは、中心市街地の活性化計画を作成するときに、市街化区域の準工業地域においては制限をかけなさいと。その目的は郊外に大規模集客施設を拡散させないように、作ったということです。今回のポイントは南北自由通路が令和4年度末に完成することになり、今までは駅の北側しか使えなかったのが、駅の南側も使えるようになる。ちょうど駅の裏のところの準工業地域の大規模集客施設の規制緩和については、今すぐということではないが、一体的な開発について、これから絵を描いていくわけです。そのためには、この規制も見直していく必要があるのではないかとということでそのような書き方をさせていただいたというのが一つ。もう一つが、このあたりにも準工業地域はあるのですが、やみくもにこのあたりも規制をとるということでは無く、やはりコンパクトシティを目指すのであれば、郊外にそのような物を出してはいけません。一方で後藤駅のところだと思うのですが、今回の都市計画マスタープランと前回の都市計画マスタープランとの大きな差は、公共交通機関を有効活用しましょうと。つまり米子市は境線、伯備線、山陰本線があり、沢山の駅があります。米子市は、すでにある程度コンパクトなのですが、この駅にもう一度焦点をあてて、まちづくりを進めていくべきだと、これが市長の公約でもあります。このあたりについて可能性は残しておく。これも今すぐという訳ではなくて将来の、公共交通機関のあり方とセットで考えていく時に、20年先の可能性について言及をさせていただいたと、ご理解を頂きたいと思います。</p>
前原会長	<p>その他ご意見ご質問があればお願いします。</p>
高西委員	<p>淀江の審議会でもお話ししましたが、今年は農振地域の5年に1回の見直しなのです。淀江で聞いた時に、農林課と内容を話したのかと聞いたら話していませんと言われました。歴代の市長は米子の基幹産業は農業と言っています。今後20年間農業のことを無視して米子のまちが活性化していくのかどうか、考えを聞いてみたいと思います。</p>
事務局	<p>今の高西委員さんのご発言ですけれども、これがある意味、今回の都市マスの中でも非常に重要なポイントだと私も認識しています。言われた通り農振地域の見直しがなされるということは、淀江の審議会の時にもそのようなご意見を頂いたことから、早急に農業振興部門との調整は普段からしているのですが、その場ではなかなかきちんとした答えができなかったということで、調整はさせていただいております。まずは、どのような農業、あくまでも農業の振興を図るという前提での都市計画でございますので、淀江の高西委員さんがおっしゃられた部分とか、市街化調整区域は農業の振興を図る上での計画でございます。本当にどうなのかという話をしております、一方ではいろいろな方からご指摘があるのですが、遊休農地の問題ですとか問題があります。まずは農業の振興、農地を守るという観点から計画は作るべきであろうと。ただし、現行でも市街化調整区域においても、例えば、幹線道</p>

	<p>路の沿道の規制緩和や既存集落の人的な規制緩和などありますので、それらと整合を図りながら土地利用は考えるべきだと書いております。ただ、あくまでもここに書いてございますのは都市計画のマスタープランでございまして、具体的な農業振興施策まで踏み込んだ内容にはなっておりません。それはご指摘のとおりです。私共の部は、総合計画という、これより一段高い計画を所管する部でもございますので、今のご意見につきましては、今後、総合計画の中で、米子市の基幹産業である農業をどうするのかという部分については、しっかり書いていきたいと考えておりますので、ご理解をよろしくお願いしたいと思っております。</p>
高西委員	<p>しっかりやってもらわないといけないと思いますが、私、去年の6月に市長に半日時間をくださいということで、米子市の農地をご案内して、問題のあるところ、将来はこういう風に考えた方がいいとか、現場を案内しました。どの程度まで市長が理解されたか分かりませんが、本当に将来の優良農地として残す所と、どうしようもない所は、山林へ返すとか、或いは他に利用価値があるのなら転用して商業地域にするとか工業地域にするとか、いろいろあると思いますが、その辺をしていただきたいと思います。赤井手に工業団地を工事中ですけれども、あの場所は米子で一番良い農地です。なぜ、米子市は良い農地を工業団地にしたのかという話もありました。他にないのかという事です。3.8haだったと思いますが、農地の転用で工事しています。実際に法人に売却するときは、道路とかありますので、3ha位に減っていると思います。そうしますと次の事を考えないといけないと思います。良く考えてしてほしいと思います。工業団地や流通団地がどこでもいいかといえ、そういう訳にはいきませんよね。高速道路のインターチェンジに近い所でないといけませんけれども、赤井手でなくても良かったじゃないかと。当時、経済戦略課長にも話しましたが納得のいく返事は無かったです。そのあたりを役所内でも話し合っ、現状を見ていただいて、してほしいと思います。市民の皆様の意見を聴取されるときに本当に良く分かっている人が行けばいいですが、分からない人が大半だと思います。その辺を良く考えてほしいと思います。例えば淀江を例にとりますと、淀江は大山山麓の湧水を利用して緑と水と歴史のというような事を20年後のビジョンとしておられるが、本当に物事が分かっておられるのかと思います。例えば今、淀江の白鳳の里に観光バスが月に何台来るか分かっていますか。分かっていないと思います。やはりそういう現状をよく見て、20年後の米子市が活性化していくということを、子供の作文ではなくて、地に着いた計画を作ってほしいと思います。本当にこのままでは米子は活性化しないと思います。今年から土曜夜市が再開されるようですが、市民や郊外の他町村から来られて商店街が活性化すればいいと思いますけれども、土曜日だけでもなかなか難しいと思います。そのあたりはどのように考えておられるのかと思いますが、もう少し地に着いたプランが欲しいなと思います。</p>
事務局	<p>貴重なご意見ありがとうございます。この都市計画マスタープランでござ</p>

	<p>いますけれども、あくまでも、そういうまちづくりをさせていただくという枠組みのようなイメージで考えていただければいいですが、高西委員さんがおっしゃられますように具体的には私共の部署と農林でしたら農林サイドですとか商工でしたら商工サイドが一体にならないと、おっしゃられるようにまちづくりは上手くいかないと考えています。委員さんの発言をしっかりと市役所の中で共有して、まちづくりを進めていきたいと思っておりますので、ご協力のほど、是非ともよろしく申し上げます。</p>
前原会長	<p>その他ご意見ご質問ございましたら、お願いします。</p>
徳嶋委員	<p>内容のことではないのですが、マスタープランは皆さんが見られると思います。私は専門外の言葉が多くて、後ろに用語の解説を付けてくださっていて、見ながら読んでいたところもあります。どのページに関連しているのかが分かると、より読みやすいのかなと思います。カッコ書きで説明を文中にしている部分もありますので、全部用語の説明にいらないのかもしれないませんが、既存ストックとか新しいキーワードがあり、どこのページのことか分かると読みやすいのかなと思いました。</p>
事務局	<p>ご意見ありがとうございます。おっしゃられるように一つ一つの言葉がどこにあるのか対比できるのが、一番よろしいかと思いますが、一般的な都市計画に関する用語を掲載しているところもございまして、全ての用語がこの中に入っている訳ではないというのが一つあります。なかなか都市計画ということで一般の方には馴染みがないところがあり、少しでも分かりやすくということで掲載させていただいています。各文章、一言一句拾い集めて、どれが分かるか分からないかは、作業として難しいところがございまして、こちらの方である程度一般的な言葉ということで後ろの方に掲載させていただいているのが現状です。</p> <p>これは何ページに書いてある言葉かということですよ。</p>
徳嶋委員	<p>本文の中に用語が使われていない物もあるというのは分かったのですが、対応していると、初めて見るときに分かりやすいと思います。掲載していないより、掲載してある方が良いと思っておりますけれども。</p>
事務局	<p>もう少し分かりやすいように工夫してみたいと思います。</p>
前原会長	<p>ご意見ございましたので、分かりやすいように工夫していただけたらと思います。その他、ご意見ご質問ございましたら、お願いします。</p>
稲田（清）委員	<p>マスタープランはおおむね20年後というのが枕につくものですから、来年どうなるのか、再来年どうなるのかというのが興味の中にあるのですが、20年先の事が目の前に見える訳ではないので、このプランの難しさがあるのかなと感じております。前回は昨年10月の末で他の公務で欠席させてい</p>

<p>事務局</p>	<p>ただいたので、その時に話が出ていたら申し訳ありません。2ページを見ていただくと、今後の予定とですね、八幡部長が言われた総合計画との関係性や、今後どういうプランが出てくるのか、これはこれで了解しましたとなった場合、どういう展開となるのかを教えてください。</p> <p>2ページ目にあります総合計画の件をお話しさせていただきます。米子市の総合計画は今年4年目なのですが、地方創生の総合戦略というのが、今年度で終わりになります。現在米子市におきましては、地方創生の総合戦略と総合計画というのを重複する部分が多いので、これを一体的に作るという作業に既に入っております。具体的に申し上げますと、来月あたりからきちんと審議会が開かれて、今年度中に総合戦略と総合計画、仮称ですけども米子市の将来ビジョンというものができるとの予定でございます。当然この都市計画マスタープランに関しては、総合戦略、総合計画に基づいてということになるのですが、こちらの方が先に出ておりますし、当然これに基づいて、まちづくりについては総合戦略、総合計画になるということで、同じ部での仕事でございますので、そのような段取りで進めているところです。具体的話については、また担当の方から説明させます。</p> <p>今後のマスタープランを策定した後の、どういった事を実際していくかなのですが、市街化調整区域と市街化区域がございまして、まちなかと郊外というのがそのように分かれています。市街化調整区域はコミュニティの維持という事をしていかないといけません。駅周辺は、今は家が建てられない地域になっていきますので、そこに地区計画をはりまして、開発できるようなことをしていこうかと検討しております。そのあたりに皆さんが住んでいただき、車社会なのですが、できるだけJRを活かしたまちづくりを進めていくよう、考えております。工業地域も一杯になってきましたので、滲み出しといいますか、隣の方にそういうことが建設できるような地区計画を検討します。まちなかに関しましても、空洞化とかありますので、国の方は立地適正化計画を進めております。そういったことに乗れるように研究ですとか、検討していきたいと思っております。</p>
<p>前原会長</p>	<p>その他、ご質問ご意見ございましたら、お願いします。</p>
<p>伊藤委員</p>	<p>今、お話を聞いていて思ったものですが、先ほどご説明でもありましたが、JR山陰本線と境線、伯備線があって、駅の周辺ということで、人が住めるような開発をしていくんだというお話もありました。市民の多くの皆様が人の流れや住まいというのは、スーパーが集積したところや、病院だとか学校だとか、そういうことで利便性が高いと米子市民は思っていると思うのです。駅周辺というのは都市部の話で、車社会ですので、駅周辺の利便性が高いと思えるかどうか。公共交通をいつも利用されている障がいのある方はそうかもしれませんが、高齢の方もそんなに使ってらっしゃらないのかなと思います。20年後の事は分かりませんが、どのような考えなのかということをご説明いただけたらと思います。</p>

事務局	<p>伊藤委員からご指摘がありましたことは、非常に重要な点ですけれども、私共は、まちをコンパクトにすることと、ネットワークで既存の公共交通機関をベースにしたまちづくりをするべきだと。ある意味、車に頼らなくても、きちんと住むことができるまちというところに、人口減少時代においては転換していかなければならないという強い意志を持っています。ですから今は車がないと生活ができないというのが前提なのですが、これが、今から20年後、30年後になったとき、本格的な高齢社会どころか、かなりの割合で高齢者がいらっしやる。なおかつ人口が減っていく。今の自動運転の話は置いておいて、それで良いのかという課題認識を持っています。ですからあくまで、市街化区域を広げるとかいう事ではなくて、維持しますけれども、コンパクトに、郊外の既存の集落については、既存の集落の維持が前提になります。公共交通機関を活かしたまちづくりをしたいというのが、今回のマスタープランの特徴でもありますので、そのあたりは、ご理解いただきたいと思っております。</p>
伊藤委員	<p>そうしますと、子供の頃や若い方が車がなくても移動ができるというような公共交通機関、まだまだ米子市の中では、そのように思っている人は少ないと思うので、教育とかしっかり合わせてやっていかなければいけない。部長の車社会を転換していくというのは、私も賛同するのですが、今の米子市の中では難しいことだなと感じますので、それに向かって教育だとか学習だとか公共交通機関の意義を広めていっていただきたいと思います。</p>
事務局	<p>その件について、冒頭申し上げれば良かったのですが、実は今年の4月に都市創造課の中にあった交通政策室、そこが分離して新たに交通政策課ができました。市長が公共交通機関を大切にしなければいけないという考えから、新しい課ができたわけですが、そこで、今、伊藤委員さんが言われたことを何とか具現化しようと日夜発破をかけられています。ただ、言うは易し、行うは難しで、非常に難しい話です。毎日、かなりプレッシャーを感じながら、そういうことを考えているのですが、ただ、やはり、今考えておかないと、明日、明後日に効果が出るものではないです。今この時点でそのような流れにしておかないと、やはり将来のまちづくりについて、10年後、20年後になった時に、どうだろうかという問題意識から、そういう交通政策とセットです、あくまでも、前回のマスタープランとの比較において今回のマスタープランの特徴は、公共交通を前面に出しているというのが特徴ですので、それを見据えたマスタープランにさせていただいております。是非公共交通につきましては、皆様どうか公共交通機関のご利用をこの場を借りてお願いしたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。</p>
前原会長	<p>その他、ご質問、ご意見ございましたら、よろしくお願ひします。 ご意見が出尽くしたということですのでよろしいでしょうか。 ご意見、ご質問いただきましたことについては、事務局の方でお考えであ</p>

	<p>りますとか、今後の対応でありますとかご回答いただきました。</p> <p>今回のマスタープラン案については、内容を修正ですとか変更しなければいけないことは無かったと思います。本案を米子市都市計画マスタープランとすることで手続を進めていただくということにしたいと思います。よろしいでしょうか。今回は答申ということではございませんので、意見を出していただいたということで、手続の方を進めていただくということです。</p>
--	---

5 その他

前原会長	事務局から何かありますか。
事務局	ありません。
前原会長	その他、皆さんからございませんでしょうか。
高西委員	この間、淀江で質問が出ました。米子には淀江と崎津と皆生と米子と漁港があるけれども、米子港は県だと言われました。活性化していかないといけないと思うが、仮に県が米子港を管轄していて、いろいろしなければいけないなら、県と一緒に話をして、進めていくことをされないのですか。
事務局	貴重なご意見ありがとうございます。米子港につきましては、以前発表させていただきましたが、かわまちづくりということで、そういう事を発表させていただいているのですが、当然これは鳥取県さんと一緒になって今いろいろな協議を進めている最中でございます。うちが単独ではありません。
高西委員	米子港みたいな物を米子市が単独なんて、県が管轄だということではなく、県だから関係ないみたいな言い方なのですか。
事務局	今日局長さんにも来ていただいております。一緒になって協議を進めているところです。
高西委員	たとえば淀江に高速道路のインターチェンジがありますよね。前は料金所があったのですけれども。広い所は国土交通省の土地で空いていますよね。私、国土交通省にどんな風に利用を考えているか聞いたら、建設残土を置くと言っていた。国土交通省の下の職員にあれやこれや言っても意味がないので。それから淀江には何年か前に淀江まちづくり推進室と去年から淀江振興課ができて、淀江の支所長にいろいろ話した時に、建設残土を広いところに置いてあるが、淀江のインターを、もっと国や県とも話して活用することができないかと言ったら、あそこは大山町の行政区域でと言われるので、大山

	<p>町の行政区域かもしれませんが、そんな狭いことを言わずに、将来は、西部は1本にならないといけないと思います。米子市もそれくらいの事を考えておられると思いますが、一つの例ですが、行政が変わってもあの場所に工業団地や流通団地みたいなものとか。或いは大山町と一緒にしてする。構造物ができれば、固定資産税は大山町に入るけれども、小さい事を言わずに全体の事を考えれば、大山町より米子市の方が、メリットがあると思います。そういうように大きい気持ちでしてほしいと思います。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。淀江インターチェンジ周辺についての課題については、都市計画マスタープランの86ページの淀江地区のところにも、こういう書き方しています。「淀江インターチェンジ周辺には、新たな拠点となる土地利用を検討します。」具体的なものは書いてないですけども、今、高西さんが言われたような課題認識は、当然、私共持っていて、本当に今おっしゃっていただいたのですが、大山町さんとの協力とか、まちづくりについては都市計画自体が鳥取県の西部の都市計画の中の米子市ということもあるので、そのあたりは大きな目で、いろいろな機関と調整を図りながら、進めていかなければいけないと思っておりますので、そういうご意見がありましたら、どんどん言っていただけたらありがたいと思っております。</p>
高西委員	<p>是非、島根の出雲の辺りまで一緒になってやっておられるので、将来は米子市と合併するかもしれないし、一緒になって、米子市の市長さんは若いし、大山町の町長さんは若いし、若い市長や町長で、今までとは違うなということが皆から思われるくらいやってほしい。いつもあの場所を通る時にもったいないなと思います。いろいろ相談があるのです。商社さんとかゼネコンさんとか。インターチェンジの場合は行政区域が大山町ということですから、大山町の方にそういう話があるかどうか分かりませんが、どんどん人口が減ってきますし、農業も衰退していきますし、やっぱり目先のことじゃなくて、何回も言いますが現場を見て把握していただいて、しっかり市民に寄り添った行政をしていただきたいなと思っておりますので、よろしくお願ひします。</p>
前原会長	<p>その他、皆様からございますか。 そうしましたら以上で議事の全てを終了しましたので、議長の任を解かせていただきます。本日は誠にありがとうございました。</p>

6 閉 会